

Fluffy Bubool

# バブールの ほっとける?

さく ムライ タケシ



2008-2010 © takeshi MURAI Characters.

Fluffy Bubool

# バブールの ほっとける?

さく ムライ タケシ





シャンプーハットをかぶった ペンギンバブルは  
ソフトクリームやさんで ともだちと いっしょに  
はたらいています

お店は どこへでも いどうします  
きょうは カラカラ・アイランドへ

「こんどの 島も みんな 楽しみにまっているね！」  
バブルたちも ワクワクしています

カラカラ・アイランドに つきました

窓から のぞくと 外は ユラユラと ゆれて  
とても 暑そうです



バブルは おそろおそろ 外に できました  
「わ～ アツい 暑い」  
おどろいて もどってきました

あざらしの店長 ズィールはいいました  
「きっと こんなに 暑い島だから  
みんな つめたいソフトクリームを  
楽しみにしているはずさっ！」  
よしっ 早くじゅんぴをはじめよう！！」  
バブルたちは じゅんぴをはじめました



じゅんぴが おわるころには  
冷たいソフトクリームを食べようと  
店のまえには 長い行列が できていました

「おまたせしました！ はいどうぞ！」  
ラブールが ソフトクリームを わたしました

「おいしそう！ ありがとう」といって 食べようとする  
ソフトクリームは たちまち とけて なくなってしまう  
わたしても わたしても 食べるまえに  
とけて なくなっていました

「島が とても 暑いから とけてしまうんだね ぼくたちは  
ソフトクリームが 食べられないのかな・・・」と  
カラカラ・アイランドの みんなが  
さみしそうに いいました



ズィールが  
「バブル なにかいい アイディアは ないかい？」

バブルは すこし かんがえて  
シャンプーハットの あわを 手にとると  
あわは どんどん 大きくなり  
大きな あわの木になりました  
すると こかげができました

「わ〜 すずしくなって きもちいい！」  
島の みんなは おおよろこびです

「さ〜 こかげで ソフトクリームを  
めしあがれ！」と ラブールが いいました



それを いたずら好きな パープと  
いたずら仲間の シャチの ザブーンが  
こっそりと みていました

「いっひっひっひ そうだ！いいことを  
おもいついたぞ！」



「いただきま〜〜す！」  
みんなが ソフトクリームを  
食べようとした しゅんかん

**ビュー！！**

ザブーンが その 大きな からだで  
息を ふきかけました

大きな あわの木は いっしゅんで 消えてなくなり  
島みんなも バブルたちも おどろきました



こかげが なくなると  
また もとの 暑い島に もどってしまいました

島みんなは ショックで  
泣きだす 住人たちもいました。



「あっはっはっは～ あ～ 楽しい」と  
満足そうに  
パーブと ザブーンは 笑って います

「パーブは なんて いたづらを好き なのかしら  
ねえ パプール どうしましょう」と  
心配そうに ラブールが いいました

「う～ん そうだ！  
いいかんがえが あるよ！

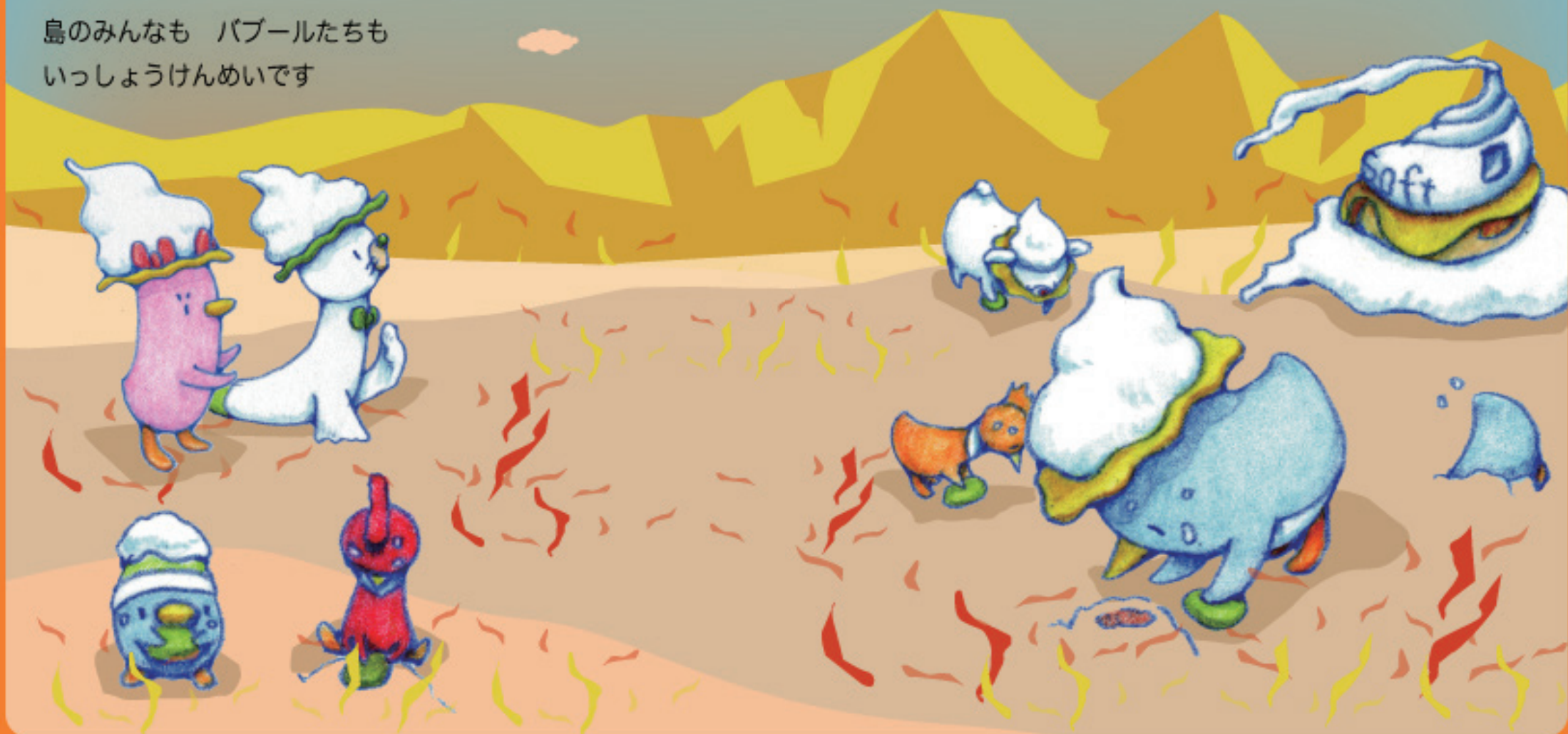
こんどは 消えない 木を みんなで つくろう！」





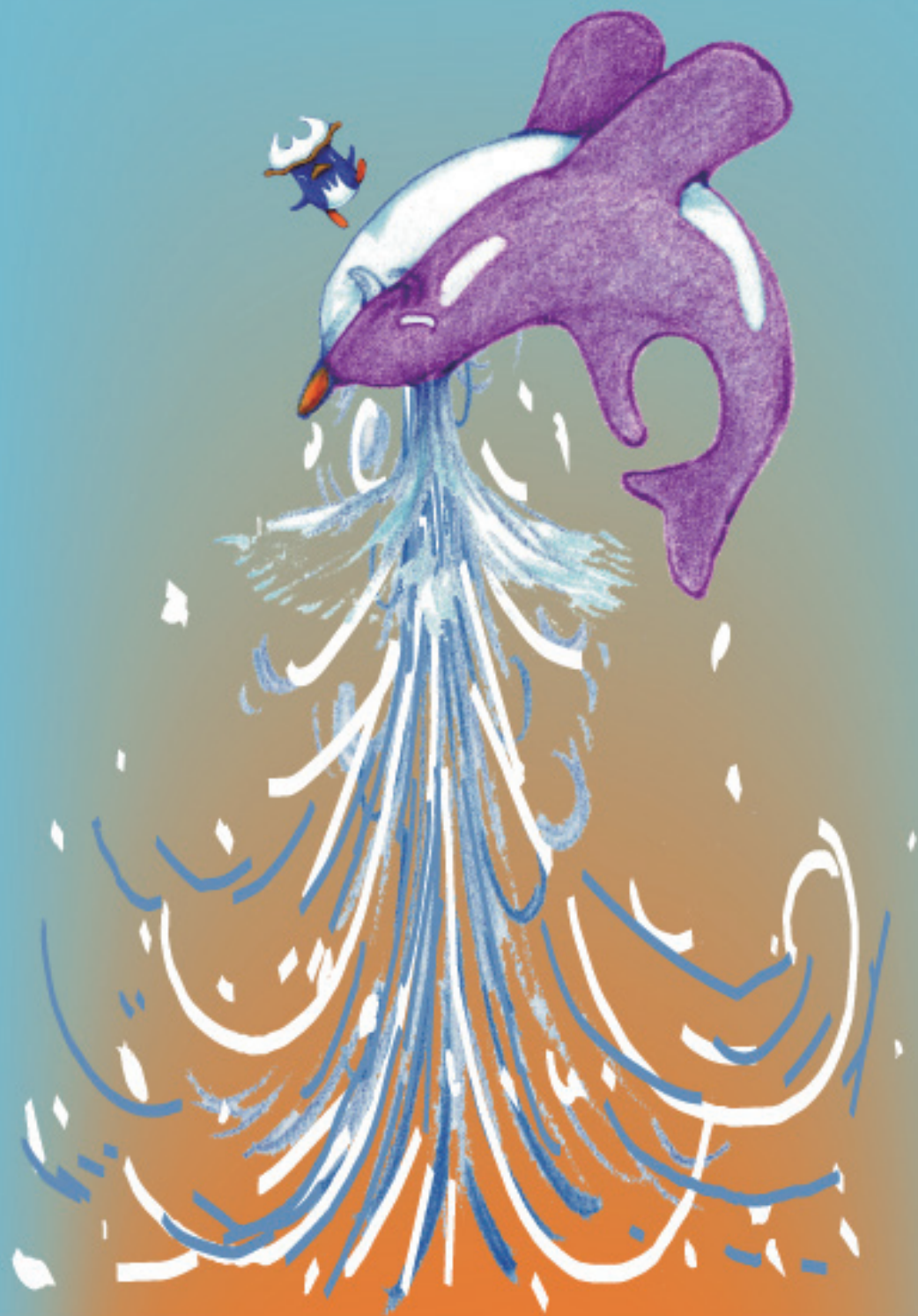
「さあ みんな いつまでも 悲しんでないで  
てつだって おくれ」  
そういと タネを みんなに わたして  
土に 植えはじめました

島 みんなも バブルたちも  
いっしょうけんめいです



それを見ていた パープ  
「いっひっひ また いたずらをおもいついたぞ  
いっひっひ」

パープは ザブーンと いっしょに  
こんどはたくさんの 水を ふらせました



その 雨が みんなの 植えた タネに

いきおいよく ふりかかりました

「パーブなんてことを するの！」

ラブールは おこりました



「いっひっひ  
これで タネは ながれて  
しまったな！！  
いっひっひ」

パーブは 満足しました



ところが カラカラ・アイランドは 土が  
とても かわいていたので  
たくさんの 雨を すいこんでしまいました

「あっ 土から 芽が でているよ！  
バーブたちが 水を まいてくれたから なんだね  
バーブ ありがとう！！」  
とバブールが いいました



みんなも くちぐちに パープに お礼をいいました

「ふんっ! つまらいの」と  
パープは ふてくされています

芽は みるみるうちに 大きくなり  
りっぱな 木になり  
そして 森に なりました



「さあ こんどこそ みんなで ソフトクリームを  
食べよう! パープも ザブーンも  
こっち おいで!」と  
店長の スィールが やさしくいいました

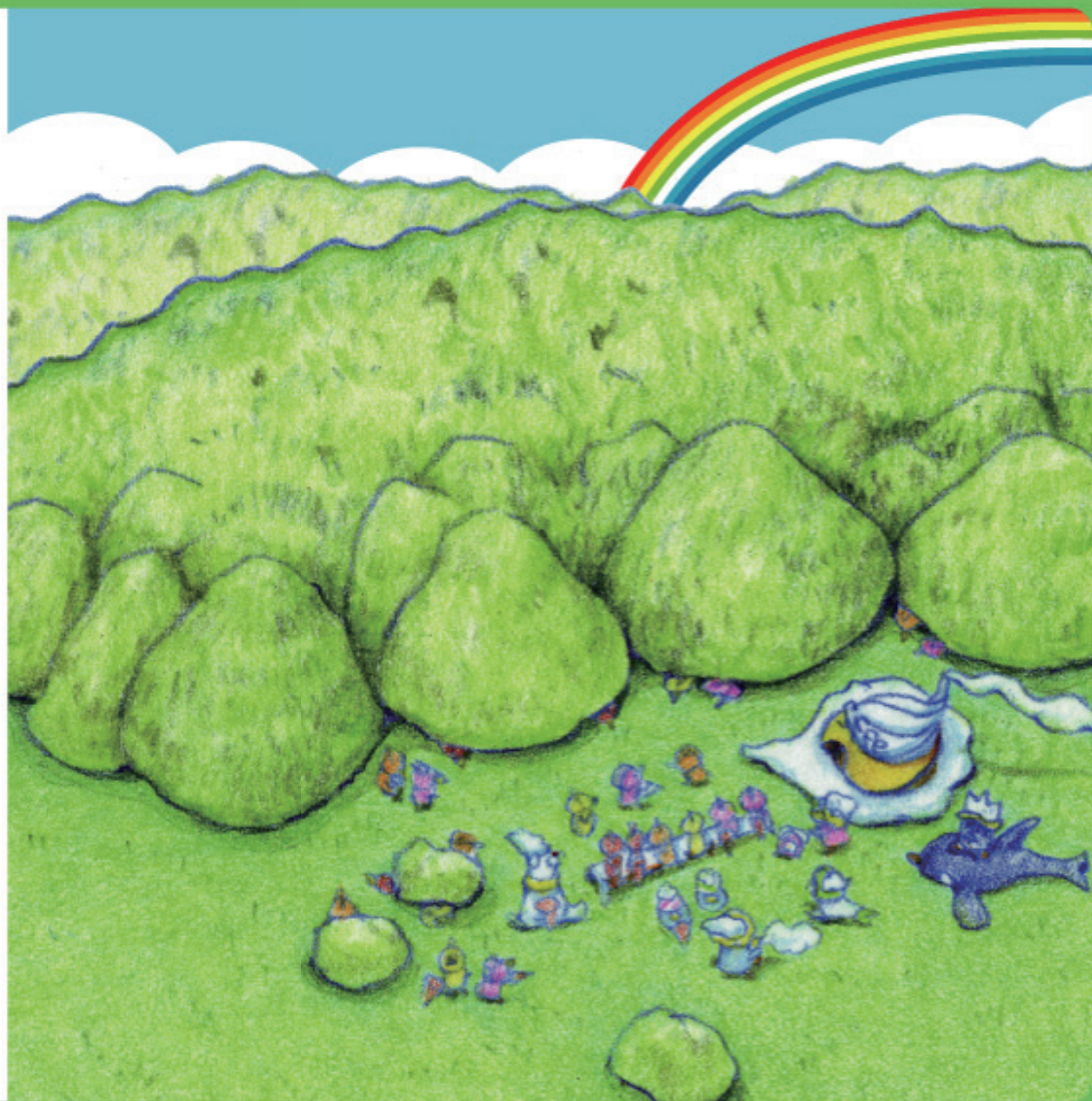


みんなで まいた タネの  
おかげで カラカラ・アイランドには  
森ができ こかげには  
きもちのいい 風が  
そよいでいます

あれほど 暑かった  
島は すっかり  
すずしくなりました

そして ようやく  
おいしい ソフトクリームを  
みんなで 食べることが できました

カラカラ・アイランドは  
緑のきれいな  
ウルオイ・アイランドになりました





# Fluffy Bubool

by Takeshi Murai

## バブールの ほっとける？

### ムライ タケシ

1972年 東京生まれ。

杉並区立大宮小学校、杉並区立泉南中学校、文化学院美術科を卒業後、イギリス遊学。帰国後、広告代理店、キャラクターグッズメーカーを経て、デザイン企画会社、(有)グリーンルームを設立。2006年に初の絵本「クリームミントむらバブールのあむのおはなし」を出版。2008年に、(株)サンリオとライセンス契約、バブールグッズ第一弾が発売される。その他、イラストレーションを中心に活動を展開している。

文・絵 ムライ タケシ

企画・監修 有限会社グリーンルーム

### Takeshi Murai

Born in Tokyo, Japan in 1972, **Takeshi Murai** graduated from the faculty of Fine Arts of Bunka Gakuin, after which he began to work as an advertising illustrator.

His first children's book, **Bubble on Bubool** was published in 2006.

Story / Illustration : Takeshi Murai



# Fluffy Bubool

## “バブールの ほっとける？”

by Takeshi Murai

バブールの ほっとける？

2009年6月5日 初版第一刷発行

著作 / ムライ タケシ 発行人 / 村井 武志

発行所 / S出版 Green Room Limited

〒272-0021 千葉県市川市八幡 3-26-3-301

電話 / 047-321-2600

URL / [www.takeshimurai.com](http://www.takeshimurai.com)

©takeshi MURAI, 2009 Printed in Japan.

2008, 2009 © takeshi MURAI Characters.

落丁、乱丁本は小社宛にお送りください。

お取り替えいたします。

“Takeshi Murai's Pictuers Book ”

by Takeshi Murai

2008-2010 © takeshi MURAI Characters.